

- 平成28年3月8日（火）
- 担当課 町民課
- 担当者 宇佐見、新堀
- 電話番号 0480-33-1111（内線253）

高校生向け年金説明会を実施しました

～予測することができない将来のリスクに備えて～

平成28年3月1日、町内の私立昌平高等学校（校長：城川雅士）において、3年生512名を対象に、下記のとおり年金説明会を実施しました。

高校生にとって『年金』＝『歳を取ってからもらえるもの』というイメージが強く、クイズ形式の説明のなかで、万が一のことがあった場合には、20歳から障害年金がもらえるケースもあると説明したところ、大きなざわめきが起こりました。

杉戸町が中心となって、高校生を対象とした年金説明会を行ったのは、初の試み※となりましたが、アンケートにより『年金について知ることが出来て良かった』という声を多くいただきました。

また、『家に帰ったら親と年金について話し勉強したい』という声もあり、現役世代に対する年金制度のPRにも繋がりました。

今回の説明会では、次世代の社会保障制度を担う若者に対して、複雑な年金制度の内容を、厚生労働省が高校生向けに作成したファクトシートを活用し、分かりやすく説明した事により、実生活に役立つ知識を、社会に出る前に知っていただくとともに、定職に就く事の大切さについて、改めて考えていただく機会となったものです。

※杉戸町内では、平成27年11月、埼玉県立杉戸農業高等学校にて、春日部年金事務所主催で説明会を行っています。（杉戸町内の高校での年金説明会開催は2例目）。

記

◆開催概要・目的

とかく「難しい」と思われがちな公的年金制度について、今回の説明会を通じ、公的年金のあり方や、保険料を納める意味、また、定職に就く大切さや、少子高齢化への対応などについて、自らが考えるきっかけとなり、社会の一員としての自覚を身につけていただくことを目的とし、年金にあまり関心のない世代である若者の意識向上に努めます。

また、今回配布したファクトシートを基に、ご家族とコミュニケーションをとっていただく事を促すことで、現在の社会保障制度の担い手である親世代にも、制度のあり方や重要性について、再度理解していただく事も目的としております。

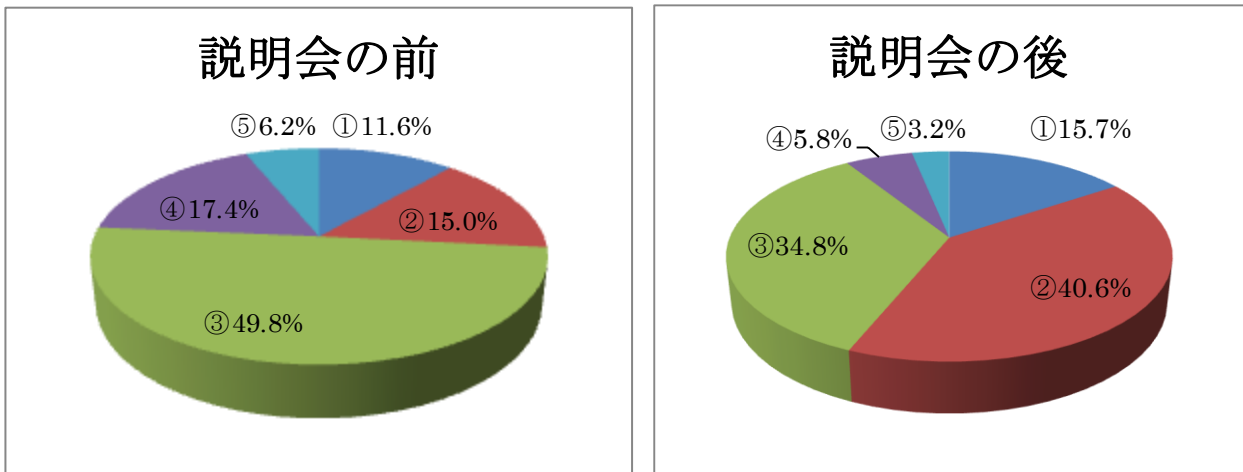
◆実施内容

- 1 日時 平成28年3月1日（火）9時00分から
- 2 場所 私立昌平高等学校（所在地：杉戸町大字下野851）
- 3 対象者 今年度卒業予定の3年生 512名
- 4 内容 年金制度はなぜあるの？

◆ 生徒からの感想・意見（実施後アンケートより）

- 年金について、誤解していたところがあったので、20歳になる前に年金のお話が聞けて良かった。
- 今回の説明会を通じて、年金に対して難しいイメージがあり、今まで避けていたが興味がわき、より深く知りたいと思うようになった。
- 家に帰ったら親と年金について話し、勉強したいです。
- 今日配られた資料をもう一度読み込み、自分でもっと詳しく調べ、今後役に立てたいと思います。
- これから、一人一人が年金に対しての知識を身につけるべきだと思います。
- 自分にはまだ早いなと思っていましたが、興味をもつことができました。
- 年金は自分たちのためにとっても必要なもので、大切なものだとはよく分かりました。
- テレビで年金の話をよく見ていたが、仕組みが分からなかったため、今日の説明会で知れてよかった。

◆ 「年金」に対するイメージ



【各項目内容】

- ①：とても良い ②：まあ良い ③：どちらともいえない
- ④：あまり良くない ⑤：悪い

- ◇年金に対するイメージが良い生徒（①とても良い＋②まあ良い）
説明会前 26.6% → 説明会后 56.3% 【+約30%】
- ◇年金に対するイメージがわからない生徒（③どちらともいえない）
説明会前 49.8% → 説明会后 34.8% 【▲約15%】
- ◇年金に対するイメージが悪い生徒（④あまり良くない＋⑤悪い）
説明会前 17.8% → 説明会后 9% 【▲約9%減】

◆ 当日の様子（体育館にて）

